■人口減少問題への取組み

（点線枠内12ページに募集記事掲載）

○出産・子育て応援給付金実施事業　1,797万5千円

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援および、経済的支援として「出産応援給付金」「子育て応援給付金」の給付を実施します。

○不妊・不育治療費助成事業【拡充】　659万円3千円

不妊・不育事業に要する費用について、令和４年度から実施した交通費、宿泊費の助成から制度を拡充し、混合診療の自己負担額の一部助成を実施します。

○高校生対象合同企業説明会開催事業【新規】　151万4千円

人材不足に悩む市内企業の採用機会の創出と就職に伴う卒業生の市外流出を抑制するため、高校３年生を対象に合同企業説明会を開催します。

○就職活動交通費等助成事業【新規】　100万円

市内企業の人材確保につなげるため、渡島・桧山管外の求職者に対し、市内企業の採用試験を受けるために要した交通費等の一部補助を実施します。

○求人情報掲載費用等助成事業【新規】　500万円

市内企業が、民間求人サイト等へ求人掲載した場合に要する費用の一部補助を実施します。

○育児休業取得支援事業【新規】　100万円

出産後の離職を防ぐため、育児休業取得の推進に取り組む市内事業者に対し、国の両立支援等助成金1件につき10万円の上乗せ補助を実施します。

○アニメツーリズムプロモーション事業【新規】　500万円

アニメと観光の結びつきにより、新たな来訪者の取り込み、ＳＮＳ等の情報発信による市の認知度向上を図ります。

■力強く成長する産業の形成

○農業機械等導入支援事業【新規】　1,500万円

認定農業者に対し、市独自の支援策として、農業用機械等の購入に係る経費の一部補助を実施し、作業の効率化や所得の向上を図ります。

○ワイン振興対策事業　2億111万6千円

本市の風土を活かした醸造用ぶどうの産地化とワイナリーを核とした地域振興策として、文月・向野地区におけるワイン関連施設の建設等に対し、令和４年度に引続き支援を実施します。

○水産業緊急支援事業　5,289万5千円

安定した活魚の出荷、高付加価値化を図るため、当別荷捌場に活魚備蓄用水槽を設置します。また、特産品であるホッキ、カキ等の貝類について、貝毒検査の実施回数が増加したことから、検査費用の一部を助成することで負担軽減支援を実施するほか、ナマコ漁における安定的な収穫促進への助成として、潜水器漁法を実施するためのダイバー費用の助成を３ヵ年の時限措置として実施します。

さらに、令和４年度に引続き、漁船用機器や漁具などの購入費の一部補助を継続するなど、漁業経営の安定化に向けた支援を実施します。

○六次産業化支援事業【新規】　1,000万円

六次産業化に取り組む農林水産漁業者に対し、市独自の支援として施設整備等に係る経費の一部補助を実施することにより、生産物の付加価値を高め、所得の向上を図る取組みを推進し、より多角的で持続可能な一次産業の確立を目指します。

■次代を担う子どもたちへの応援

○浜分小学校体育館屋根改修事業【新規】　1,974万6千円

老朽化した浜分小学校体育館の屋根改修を実施し、子どもたちが安全・安心して教育が受けられる環境を整備します。

○校務用パソコンLAN環境整備事業【新規】　2,077万9千円

ＩＣＴ教育の充実を図るため、市内全小中学校を対象に、老朽化した校務用パソコンＬＡＮ環境の更新を実施します。

○小中学校トイレ洋式化改修事業【新規】　1,332万1千円

市内小中学校のトイレ洋式化改修について、令和５年度から令和７年度にかけて計画的に実施します。

○学校給食共同調理場施設改修事業　6,505万5千円

子どもたちに安全・安心でおいしい給食を提供するため、老朽化した調理機器等の更新を実施します。

○全国高等学校総合体育大会相撲競技大会運営補助事業　1,296万4千円

本市で8月に開催される全国高等学校総合体育大会相撲競技について、大会運営費を補助し、全国から訪れる多くの関係者の受入れに万全を期すため、大会の開催準備・運営に取り組みます。

令和５年度の北斗市各会計予算案は、第1回北斗市議会定例会で3月14日、可決されました。市民の暮らしやまちづくりに使われる予算の姿とその主な内容を特集してお知らせします。

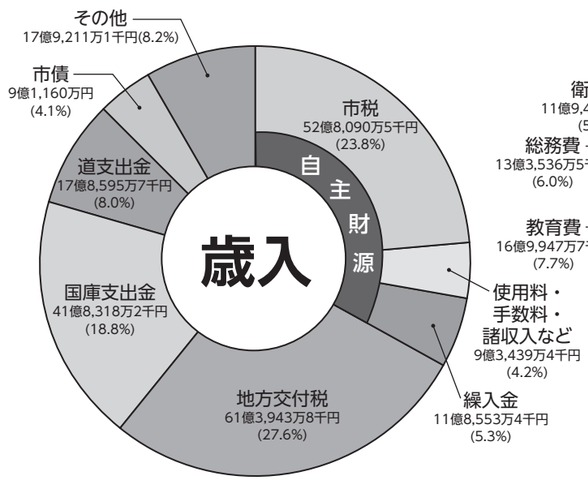
また、令和５年度の新規・拡充事業について、市公式ホームページで詳しく紹介しています。

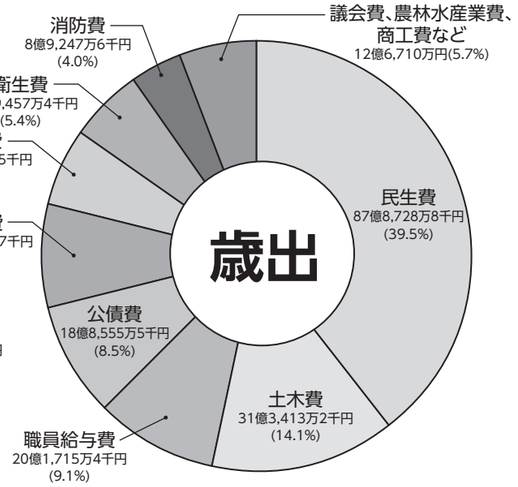
HP https://www.city.hokuto.hokkaido.jp/docs/12396.html

問 市役所財政課財政係［内線216～218］

令和５年度　北斗市予算

一般会計　222億1,312万1千円





〈歳入の用語〉

自主財源	市税	市民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、鉱産税、入湯税
	使用料・手数料・諸収入など	公共施設の使用料や許可申請などの審査手数料、契約に基づく収入金など
	繰入金	投資的事業の財源など特定の目的に充てる基金（市の貯金）からの繰入金
依存財源	地方交付税	地方自治体が標準的な行政サービスができるよう、財政需要に応じ、国から交付される財源
	国庫支出金	特定の事業や事務に対して国が交付する負担金や補助金、委託金
	道支出金	特定の事業や事務に対して道が交付する負担金や補助金、委託金
	市債	一時的に多額の資金を必要とする建設事業などの経費に充てる長期借入金
	その他	地方譲与税、地方消費税交付金、寄附金（ふるさと納税含む）など

〈歳出の用語〉

民生費	児童、高齢者、障がい者、ひとり親家庭の福祉や生活保護、医療助成などの経費
土木費	道路や河川、都市計画、公園、市営住宅などの社会資本の維持や整備に関する経費
職員給与費	特別職や市職員（一般職・会計年度任用職員）の給料、諸手当などの経費
公債費	市の長期借入金（市債）の返済金
教育費	学校教育や生涯学習、文化・スポーツの振興などに関する経費
総務費	市の一般事務をはじめ、移住・定住対策や公共交通、交通安全、住民施設の管理経費など
衛生費	予防接種や各種検診などの保健衛生や、ごみ処理、リサイクルなど環境衛生に関する経費
消防費	北斗市、七飯町、鹿部町で構成する南渡島消防事務組合負担金や災害対策のための経費
議会費、農林水産業費、商工費など	議会費（1億7,653万9千円）、労働費（1,341万8千円）、農林水産業費（6億7,183万2千円）、商工費（3億7,103万1千円）など

※7ページから9ページまで「主な施策」を紹介します。

■安心できる福祉・暮らしに身近な環境の向上

○国民健康保険税の負担軽減
（国民健康保険事業特別会計）

令和12年度開始予定の都道府県統一保険料に向けて、資産割を廃止するとともに、すべての被保険者の負担を軽減するため、基礎課税分の均等割、平等割を減額します。

○栄養指導体制の充実【新規】

管理栄養士を1名増員配置し、市民の皆様の栄養・食生活の改善対策を充実させます。

○せせらぎ温泉サウナ室改修事業【新規】
585万2千円

森林環境譲与税を活用する事業として、老朽化したサウナ室を地元産木材を使用し改修します。

■若者や女性、高年齢者がチャレンジできる環境づくり

○商店街等元気づくり事業補助金
4,000万円

商店街の空き店舗を活用し、新たな事業にチャレンジするための改修費用等を助成することで、これまで同様、若者や女性、高年齢者の活躍促進を図ります。

○高校生対象合同企業説明会開催事業【新規】
151万4千円　再掲

○就職活動交通費等助成事業【新規】
100万円　再掲

○求人情報掲載費用等助成事業【新規】
500万円　再掲

○育児休業取得支援事業【新規】　100万円　再掲

■安心・安全な都市環境の整備

○防災業務の体制強化【新規】

本市が津波避難対策特別強化地域に指定されたことを踏まえ、「津波避難対策緊急事業計画」を策定し、市民の安全・安心を一層高める取組みを進めます。

また、任期付き職員採用制度を活用し、専門知識を有した防災専門職員を1名配置し、防災業務の体制強化を図ります。

○生活道路・橋りょうの整備　6億4,354万2千円

生活道路については、千代田第2号線や追分97号線などの継続事業のほか、令和5年度は新たに久根別停車場線の歩道未設置区間を解消するための調査に着手します。橋りょうについては、大当別歩道橋、萩野橋、萩立橋などの橋りょう改良工事に着手します。

○河川などの整備　2,500万円

文月川、下町沢川、トドメキ川の整備を令和４年度に引き続き実施します。

○街路の整備　1億9,374万円

引き続き令和5年度も上磯田園通の整備を行います。

○運動公園施設改修事業　4億7,186万1千円

運動公園の大規模リニューアルについては、すべての世代の方に親しまれる公園を目指し、令和3年度から事業を進めているところですが、令和5年度は水浴びのできる親水広場やインクルーシブ遊具、太陽光発電を利用したトイレなどの整備を実施します。引き続き、令和7年度の完成を目指し、整備を進めていきます。

■SDGs と都市生活環境づくり

○パートナーシップ宣誓制度の導入【新規】8万3千円

性の多様性に対する理解を進め、市民一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、人生のパートナーや大切な人と安心して暮らせるまちの実現のため、パートナーシップ宣誓制度を導入し、宣誓書受理証を交付します。

○住宅用太陽光発電設置補助金【拡充】　600万円

脱炭素社会の実現に向けて、住宅用太陽光発電設置補助金の予算を拡充するほか、車庫、物置、カーポートなどの付属建物への設置も補助対象とするよう制度を拡充します。

○ゼロカーボン推進事業【新規】　2,042万6千円

浜分体育センター、久根別体育センター、茂辺地体育センター、上磯小学校の照明器具の更新に向けた実施設計を行います。また、市道のハイウェイ灯をＬＥＤ照明器具に更新します。

○公用車購入事業　914万9千円

公用車のハイブリッド車への更新を実施します。

○若者との協働事業【新規】　25万円

SDGsゴール17に資する取組みとして、北海道教育大学函館校との協働事業により、学生と共に地域課題解決を検討する場を創設します。

○SDGs推進企業登録事業【新規】　2万2千円

SDGsに取り組む市内事業所に宣言書を交付し、取組みを広報・ホームページなどで紹介することで、SDGsの地域社会への浸透を目指します。

■北海道新幹線効果拡大への取組み

○新函館北斗駅前イベント事業補助金　1,379万8千円

新函館北斗駅前通を歩行者に開放し、「食」をテーマにした、「グルメだよ！全員集合in北斗」を6月24日（土）～25日（日）に開催し、北斗市を中心に道南圏や東北地方の新幹線沿線自治体の「食」を提供します。

■持続的で効率的な行財政運営

○本庁舎施設改修事業　3,286万8千円

本庁舎のボイラー煙突のアスベスト材の除去工事を実施します。

○庁内ネットワーク通信機器更新事業【新規】
4,035万9千円

庁内ネットワーク通信機器について、耐用年数の経過に伴う更新を、セキュリティ対策等の強靭化を踏まえた上で実施します。

○収納管理システム改修事業【新規】
829万9千円

税外5科目のうち、すでに対応している学校給食費に加え、保育所利用負担金、放課後児童クラブ利用料、介護保険料、後期高齢者医療保険料について、コンビニ収納に対応するためのシステム改修および、前述の税外5科目について、スマホ収納に対応するためのシステム改修等を実施します。

■特別会計・企業会計

特別会計とは、特定の事業を行うなど一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計をいいます。

※（　）内は前年比較。

○国民健康保険事業特別会計…48億5,464万7千円
（▲1億8,976万9千円）

保険税や道からの交付金などを財源に、被保険者の医療費に対し必要な給付を行います。平成30年度から財政運営の責任主体が道となっていますが、市町村と連携し、運営されます。

○後期高齢者医療事業特別会計…6億5,845万3千円
（+796万4千円）

後期高齢者医療制度加入者の保険料を徴収し、保険者（広域連合）に納付します。

○介護保険事業特別会計……45億82万6千円
（▲6,842万4千円）

保険料や国、道、市からの負担金を財源に、被保険者の要介護度に応じた保険給付などを行います。

○土地区画整理事業特別会計……4,182万1千円
（▲759万8千円）

北海道新幹線新函館北斗駅周辺地区の土地区画整理事業により生じた公債費の償還などを行います。

○渡島公平委員会特別会計……52万8千円（±0円）

関係市町の負担金により職員の人事上の不服審査を行います。

○水道事業会計（企業会計）

収益予算……7億3,223万1千円
（+1,954万7千円）

水道料金を財源に水道水の供給を行います。

資本予算……6億7,317万8千円
（▲4,225万9千円）

企業債などを財源に給配水管設備の整備を行います。

○下水道事業会計（企業会計）

収益予算……11億7,606万4千円
（+5,280万1千円）

下水道使用料を財源に汚水を処理します。

資本予算……9億5,978万2千円
（+2,049万1千円）

企業債などを財源に下水道管などの整備を行います。